

映像制作のトップクリエイティブ集団 株式会社ロボットおよび株式会社ピクスが クラウドERP『ZAC』を導入

—案件別予算管理の精緻化・リアルタイム化・業務効率化を推進—

株式会社オロ（本社：東京都目黒区、代表取締役社長執行役員：川田 篤 以下「オロ」）は、IMAGICA GROUPの映像コンテンツ事業を担う株式会社ロボット（本社：東京都渋谷区、代表取締役社長：福崎 隆之 以下「ロボット」）および株式会社ピクス（本社：東京都渋谷区、代表取締役社長 社長執行役員：平賀 大介 以下「ピクス」）の2社が、プロジェクト型ビジネスに特化したクラウドERP「ZAC」を導入し、運用を開始したことをお知らせします。

長年活用してきたスクラッチシステムからのリプレイスにより、案件別予算管理の精緻化・リアルタイム化、ならびに業務プロセス全体の効率化を図ります。



ZAC選定 3つの理由

①プロジェクトを軸にした業務管理が理想的な形で行える

プロジェクトを軸に業務管理を行う企業向けのシステムとして設計されており、プロジェクト予算管理／原価管理を理想的な形で行うことができた。

②ユーザーフレンドリーなインターフェース

忙しい現場スタッフも抵抗なく利用できるわかりやすいインターフェース。Webブラウザでいつでもどこでも簡単にアクセスできる点もポイント。

③ZACを先行利用するユーザー企業の評価

IMAGICA GROUP内のZACユーザー企業の評価がおおむね好評だった。広告業・映像制作業に多数導入されている豊富な実績もポイント。

ZAC導入事例インタビュー記事を公開

株式会社ロボット様および株式会社ピクス様の2社にてZAC導入プロジェクトを推進された皆さんに、導入の背景、得られた効果、そして今後の活用計画についてお話を伺いました。ERP導入事例インタビューはZAC公式サイトにて公開しております。ぜひご覧ください。
<https://www.oro.com/zac/casestudy/robot-pics.html>

ROBOT

P.}.C.S.

【株式会社ロボット / 株式会社ピクス 導入インタビュー（一部抜粋）】

インタビューでは、ZAC導入の決め手について
次のような声が挙がっています。

「ZAC導入の決め手は、システムのデザインに、プロジェクト
管理が自然に組み込まれていたこと。日々の業務の中心に
据えられる点を評価しました。」



■老朽化したスクラッチシステムの運用が限界に

以前使用していた業務システムは、自社専用のスクラッチシステムでした。プロジェクト予算管理、販売業務、購買業務に加えて、従業員の工数実績を取り込んでプロジェクト原価計算も行える仕組みでした。

しかし、利用開始から10年以上が経過し、その間、継ぎはぎの改修を何度も重ねた結果、保守が困難になりました。特に近年は電子帳簿保存法、インボイス制度、フリーランス新法など法改正への対応が相次ぎ、今後もこのような改修を行っていくことはもはや限界でした。早急にパッケージシステムへの移行を進めるのと同時に、これを機にその他の課題も同時に解決を目指すことにしました。

当時の課題は、大きく以下の2点に集約されます。

【課題1】 案件別予算管理の課題

- ・Excelで作成する「実行予算書」の更新が担当者に依存
- ・最新情報がシステムに反映されず、管理部門・経営層が状況把握できない
- ・クラウド上で最新の利益計画を共有できる仕組みが必要

【課題2】 業務効率化の課題

- ・外注先の請求処理が紙・押印・二重入力に依存
- ・月末の承認作業が滞留しやすい
- ・業務フローそのものを刷新する必要があった

■ZAC導入の決め手は、プロジェクト管理がシステムのデザインに組み込まれていたこと

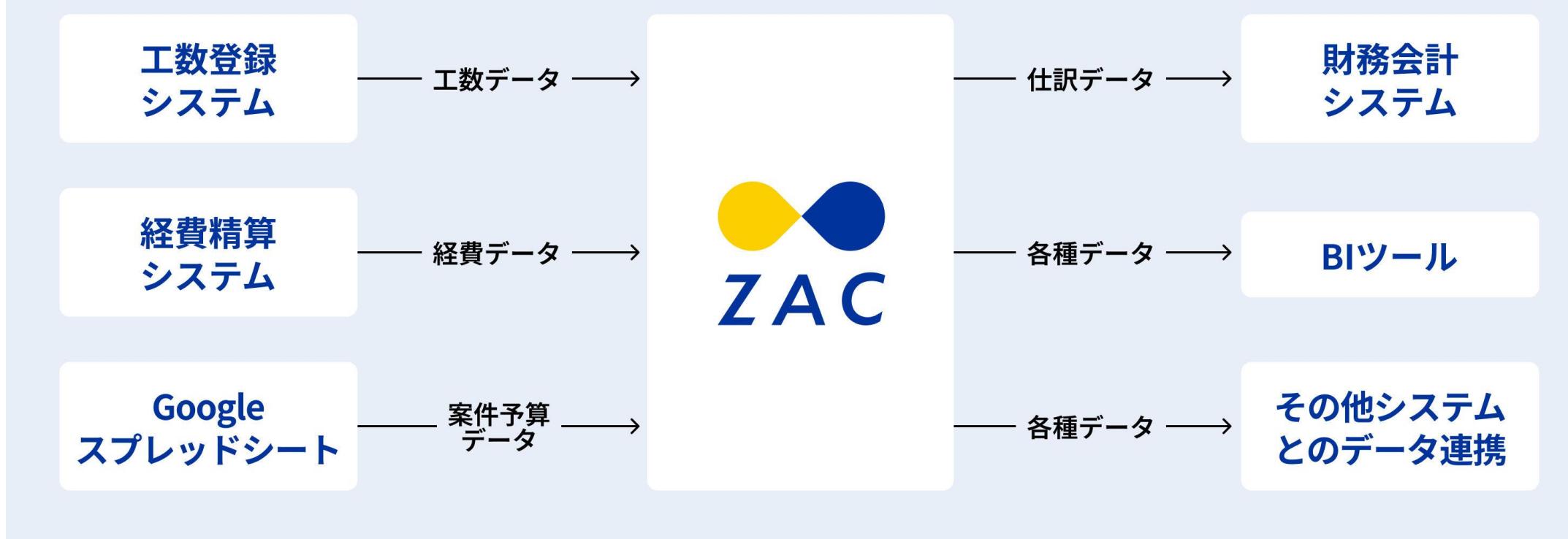
ZACは業務フロー、画面遷移、データ集計など、あらゆる処理がプロジェクトを軸に設計されているので、先ほどの申請・承認や収支把握といった作業をスムーズに進めることができます。つまり「プロジェクト管理がシステムのデザインに組み込まれている」とは、プロジェクト管理を行う際に必要な機能・フローが、自然な形でシステムに実装されている状態を指します。ZACはこの点で理想に近いシステムでした。

■ZACのAPI連携を活用し、複数システムとの柔軟なデータ連携を実現

ZACのAPI連携は、会計システムや工数登録・経費精算システム、Googleスプレッドシート、BIツール、その他システムとのデータ連携に活用しています。連携には自社ならではのニーズを反映させたい部分が多いため、状況にあわせて柔軟に仕組みを構築できるAPI連携は重宝しています。

最近は生成AIの普及によってプログラミングのハードルが大きく下がっているので、API連携を自分たちで開発する企業は今後増えていくと思います。ユーザーのさまざまな要望に応えられるよう、ZACのAPI連携の機能拡充は今後も進めていってほしいと期待しています。

● 口ボット・ピクスにおける「ZAC API連携」活用イメージ



■ 「映像業界の古い慣習からの脱却」と「持続的な成長」の実現に向けて、ZACの運用を洗練させていきたい

口ボット・ピクスとともにZACの運用開始から間もないため、まだまだシステム移行に伴う負担を現場にかけている段階であり、本当の効果が見えてくるのはこれからです。

一方、先行して運用を進めているピクスでは、効果が見え始めているものがいくつかあり、その一つは案件情報の見える化です。ZACは事業部、担当者、案件ステータスなど、さまざまな切り口で案件を検索でき一覧化できるので、必要な情報にアクセスしやすくなりました。

例えば「今月末に売上計上予定となっているが、月末時点でまだ売上計上されていない案件」などをZACでは簡単に抽出することができます。対象案件の情報を詳しく見ると、誰がどの処理を行っていないかなどが一目でわかるので、バックオフィスとしては月末の締め作業がとてもやりやすくなりました。

承認作業のペーパーレス化も効果の1つです。従来は紙とハンコに依存していた承認作業が時間や場所を問わず行えるようになりました。プロデューサーによっては1か月近くオフィスに戻らないこともあります。承認フローがスタックしてしまうことが多々ありましたが、ZACはリアルタイムに承認がもらえるので非常に助かっています。

株式会社ロボット様および株式会社ピクス様のERP導入事例インタビュー記事は
こちらからご覧いただけます。

<https://www.oro.com/zac/casestudy/robot-pics.html>

ROBOT

P. I. C. S.

株式会社ロボットについて

株式会社ロボットについて

事業概要：映像コンテンツの企画・制作／体験型アトラクションの企画・制作／デジタルコンテンツの企画・制作／オリジナルストーリー、IPの企画・開発／共創型事業開発／クリエイターマネジメント

所在地：〒150-0022 東京都渋谷区恵比寿南3-9-7

設立：1986年6月3日

URL：<https://www.robot.co.jp/>

株式会社ピクスについて

事業概要：映像およびグラフィック企画・制作／体験および空間設計・制作・施工／ライブ・エンタテインメントに
関わる映像制作／デジタルコンテンツ企画・制作／IPコンテンツの企画・開発及び著作権の管理／クリエイターマネ
ジメント

所在地：〒150-0022 東京都渋谷区恵比寿南3-9-19 サイシンビル

設立：2000年4月25日

URL：<https://www.pics.tokyo/>

クラウドERP「ZAC」について

プロジェクト型ビジネスの業務を統合し効率化する

クラウドERP ZAC

導入社数 **1000社** ライセンス **30万** IT導入補助金採択率 **96%** ※

※IT導入補助金2023にてZAC・Reformaで27社中26社が採択（2024年3月14日時点）



クラウドERP「ZAC」は損益管理、プロジェクト管理、管理会計、内部統制、決算早期化を実現する統合型の基幹業務システムです。業務効率化と的確な経営判断を支援し、企業の継続的な成長を担う経営基盤として、IT業、システム業、広告業・クリエイティブ業、士業、コンサルティング業をはじめとした累計1000社を超える企業様に導入いただいております。モジュール（機能）単位で導入範囲やライセンス数を選択でき、導入後も必要に応じて機能やライセンスの追加が可能であることも特徴です。

「ZAC」サービスページ：<https://www.oro.com/zac/>

【『クラウドERP ZAC』に関するお問い合わせ先】

株式会社オロ マーケティンググループ TEL：03-6692-9558 / Mail：zac@jp.oro.com

【報道に関するお問い合わせ先】

株式会社オロ 広報担当 TEL：050-5783-5386（直通） / Mail：info@jp.oro.com